

お茶の水女子大学学报

昭和 62 年 5 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

卒業式・学位記授与式学長告示	2	お茶の水女子大学受託研究員規程 の一部を改正する規程	10
入学式学長告示	3	人 事	10
関係法令	5	各種委員会委員	30
学内規程	5	新任部局長紹介	38
お茶の水女子大学奨学基金 運営内規の一部を改定する内規	5	学 事	40
お茶の水女子大学学則の一部 を改正する学則	6	卒業式及び学位記授与式について	40
お茶の水女子大学学則の一部 を改正する学則	6	入学式について	40
お茶の水女子大学学部規程 の一部を改正する規程	7	諸 報	40
お茶の水女子大学外国人 留学生委員会規程	7	名誉教授の称号授与について	40
お茶の水女子大学奨学基金運営 内規の一部を改正する内規	8	永年勤続者表彰について	40
お茶の水女子大学授業料等 免除及び徴収猶予取扱規程 の一部を改正する規程	8	停(定)年及び永年勤続退官者全学 送別会について	41
お茶の水女子大学女性文化 研究センター規則の一部を 改正する規則	9	海外渡航	41
お茶の水女子大学附属高等学校 規程の一部を改正する規程	9	健康診断	41
お茶の水女子大学附属幼稚園 規程の一部を改正する規程	9	研 修	42
お茶の水女子大学私学研修員、専修学校 研修員及び公立大学研修員規程の一部 を改正する規程	10	レクリエーション行事	42
		新任者住所	42
		職員の住所等変更	43
		自動車駐車場の廃止について	44
		お知らせ	45
		日 誌	45

卒業式・学位記 授与式学長告示

本日ここに、本学名誉教授の先生方をはじめ来賓各位、卒業生の御両親・保護者の方々、そして本学の教職員諸氏の御臨席のもとに、第35回卒業式ならびに第23回学位記授与式を挙行することができますことは、まことにありがたい極みであります。

只今、学部卒業者420名に対し卒業証書を、大学院修士課程修了者118名に対し学位記を、それぞれ授与致しました。

卒業生の皆さん。晴れての卒業、ほんとおめでとう。また、今日の日まで皆さんをいつくしんでこられた御両親・保護者の方々の感慨もさぞかしと思います。ともどもに心からおよろこび申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。今日の卒業式は、皆さんにとって、よく言われますように、これからの社会生活や職業生活、さらには研究生活への新しい出発式でもあります。つまりこれまで4年間ないし6年間の本学における研究と教育を通して皆さんひとりひとりが習得された学業生活の成果を基礎として、それをこれからの新しい生活に活かし、さらに発展させて、充実した人生をきり拓いていくための出発式なのであります。

それでは、皆さんが、これまで本学で身につけてこられた力とはなんでしょうか。それがたんに専門的な知識や技術という目に見えるものだけでないことはいうまでもないでしょう。それもだいじであります。しかし、大学は、いうまでもなく、学問研究の府であります。同時にそれは、教育の府でもあります。したがって、皆さんの本学における学業生活の歩みは、教育基本法にいう「人格の完成をめざして」の歩みであったはずですし、それはとりもなおさず、真・善・美という人間の、人類の至高の理想をめざして、一歩ずつ、限りなくそれに近づいていこうとする努力であった、ということができると思うのです。

そうした歩みの成果として皆さんが身につけられたもので、とりわけだいじなもの、そしてこれからの皆さんの生活にとって基礎的な力となっていくものは、周知の教育哲学者ジョン・デューイのいう「学習の態度」ということではないでしょうか。

デューイは、教育において、自分で考える力(思考力)を育成すると同時に、それを支える学習の態度の

形成を図ることがとりわけだいじであると強調して、その内容として3つを挙げております。第1には、開かれた心open-mindednessということであり、あらゆる物事や可能な事態を、あるがままに、すなおな心で、虚心坦懐にとらえ、受け容れることであります。第2には、誠心誠意whole-heartednessということであり、全身全霊を挙げて問題に取り組んでいくということであり、そして第3が、責任性responsibilityということであり、自分が考えたこと、判断したことに対して責任をもつということであり、

デューイのいう学習の態度を、私は、端的に、「学びの心」と呼ぶことができると思います。そして皆さんは、本学でのこれまでの学業生活を通して、まさしくこの学びの心を体得し、実践してこられたのだ、と確信します。そしてこれこそが、皆さんのこれからの生活の中でとりわけ必要になる柔軟で、しなやかな思考力と判断力と行動力の基礎となる力だと思えます。

こんなことを考えるとき、私は、なぜか、かの牧野富太郎博士が、その自叙伝の中で述べておられることを想起します。次のようなことです。

「植物と人生とは、実に離すことの出来ぬ密接な関係に置かれてある。人間は四足の植物を征服していると言うだろうが、又これと反対に、植物は人間を征服していると謂える。そこで面白いことは、植物は人間が居なくても少しも構わずに生活するが、人間は植物が無くては生活の出来ぬ事である。そうすると、植物と人間とを比べると人間の方が植物より弱虫であると謂えよう。」

これを私なりに勝手に結びつけるのは、牧野先生にはたいへん失礼にあたるかもしれませんが、まさしくこれは、真理の探究に学びの心で、ひたむきに打ち込んでいかれた先生ならではの思考のみごとな表現だ、と思うのです。

私は先程卒業証書と学位記を読み上げながら、それを、これから皆さんが激しく、厳しく変動していく社会の中で、まっすぐに、堂々と自分なりの生活をきり拓いていかれるうえでの基礎的な力としての知識・知性と教養と、そしてそれを支える学びの心を体得されたことの証明としてとらえておりました。

皆さんが今日から新しく出発していかれる社会は、よく言われるように、高齢化や高度情報化、そして国際社会化といった、いかにも変化の激しい不確実性の時代の中で、あくまでも、ひとりひとりが人間として

入学式学長告示

主体的に生き抜いていくことを要請されるきびしい社会であります。生涯学習ということが現実に必要なとなり、新しい知性と教養と生き方を求めて、たえず自己を高めていくことが必要となるのも、このためであります。

その際、もっと勉強したい、誰かに教を乞いたい、友人や同学の士とともに討論して考えを深めたい、専門の図書や資料によって調べたい等々、学びの欲求の充足の機会と場が必要になるでしょう。そうした機会と場は、卒業後の社会に多様な形で整備されるかもしれませんが、皆さんにとって、その場として何よりも先ず開かれているのが母校であるこのお茶の水女子大学であります。また、そうありたいと思います。ここには、ともに真理の探究に励んできた先生方との深いつながりがあり、また文字通り学友として学業生活をともにしてきた先輩、後輩とのつながりがあるからであります。

皆さんを送り出す私どもは、わが国の高等教育制度全体が大きな変革期にある中で、教職員、学生ともに本学の歴史と伝統を継承しつつ、たえず国立女子大学としての存在意義を問い直しながら、学問と教育の府としての一層の充実と発展に努めていく所存です。卒業生の皆さんも、どうか本学の卒業生であるという自覚と誇りをもって堂々たる充実した人生を歩んでいられるよう念願致します。

その際、ぜひお願いしたいことがあります。これからの皆さんのそれぞれの生活の中で、本学で習得された成果を、なんらかの形で、なんらかの場で、社会に還元し、他の人びとに貢献し、役に立つ生き方をさせていただきたいことあります。このことが、国立女子大学を卒業された皆さんにとっての大きな責務の一つであり、また社会がそうした皆さんを期待し、待っていると思うからであります。

さいごに、重ねて卒業される皆さんへの祝意を表し、これからの一層の御発展を祈念して、私の告辞と致します。

昭和62年 3月23日

お茶の水女子大学長 河野重男

只今入学許可をしました新入生の皆さん、入学おめでとう。今年は新しい入学試験の制度のもとであっただけに、皆さんの努力と苦勞もさぞかしだったと思います。それだけに入学おめでとうということばにも、私にとっては、よく頑張ってくれたというひとしおの感慨があります。また、本日ここにお見えいただいている御両親・保護者の方々にとっても、その意味で今日の感慨はさぞかしと、心からおよろこび申し上げます。

さて、皆さんにとって、今日から大学での生活がはじまります。皆さんひとりひとり大学での生活に対する期待と希望と覚悟をもって、ここに臨んでおられることでしょう。その皆さんに私なりの期待と願いを申し上げて、一緒に考えてみたいと思います。

第一に、大学とは、学問の探究、真理の探究の場だといわれますが、それは結局は、「自分の頭で考える」という力を身につけるところだ、ということあります。これが学問の仕方、真理の探究の仕方を学ぶ真理であります。これまで皆さんは、いろいろと努力されてきましたが、それはどちらかといえば、既に出されている問題に対して答えを出すという傾向が強かったのではないかと思います。そのことも、もちろんだいじであります。しかし、大学でこれからだいじなことは、自分で問題を発見し、それに対していく通りもの答えがある、その答えを見つけ出していくことあります。

たとえば、読書の仕方についても、それがいえるのではないのでしょうか。よく知られていることですが、夏目漱石の本の読み方について漱石の弟子でもあった小宮豊隆さんが、次のような話をしておられます。

「漱石の読書で我々が最も注目すべきことは、漱石が読んだ本には、いちいちアンダーラインといおうか、印がつけてある。また欄外にも書き入れをしている。それが日本語であったり、英語で書いてあったり、その事柄もさまざまで、読んでみるとそれがたいへん面白い。

なぜ面白いかというと、そこに書き入れてある言葉を読むと、もうその場で作者に向かって議論を吹きかけるようなことが書いてある。ちょっと見ると作者と対決するような気持ちで、けんか腰で、そんなべらば

うなことがあるものか、というような文句が、その批評の中に書いてあったり、そうかと思うと、小説の中に表れた言葉の中で、あるいは戯曲一劇として上演される場合にはこうなるであろうと予想して書かれた、いわゆる脚本の言葉の中で、漱石自身にとって大層気に入った言葉については、もうこんないい表現、素晴らしい表現はないといったような賛美の言葉を書いたりしている。」

皆さんが、これからはじまる先生方の講義を聞き、あるいは論文を読み、あるいは図書館で本を読むというときに、こうした問題発見とそれに対する答えの探究という意味での、自分の頭で考えるということをだいにじっていただきたいと思います。

第二に、これからの大学生活の中で、青年期としての発達を完成させて欲しいという期待であります。フランスの心理学者で著名なドベスが、『青年期』という本(クセジュ文庫)の中で、教育の課題は、「青年期は誰にもあって、その青年期の華を開かせる」ことだ、と主張しております。その趣旨は、こうであります。小学校の教育が児童期にある子どもたちに対する教育であるのに対して、中等教育、高等教育は、青年期にある人たちに対する教育だ。児童期に対して青年期と呼ぶからには、青年期を青年期たらしめる本質があるはずだ。それは、2つの課題が達成されているということである。その一つは、先程述べたことにもつながるわけですが、自主的主体的な判断力や行動力を身につけるということでもあります。まさに、自分の頭で考え、自分で考えたことには自分で責任をもつということでもあります。とりわけ皆さんのこれからの生活は、よく言われる情報化社会の中での生活であります。その中で、氾濫する情報にふりまわされないで、自らが情報の主人公になれるような力こそが、大学での研究と教育を通してだいにじりたいことだし、それが青年期にとって決定的にだいにじなことだと思っております。

青年期の華を開かせるということの第二は、社会とのかかわりにおける自己の位置づけについてはっきりした考えをもつということでもあります。つまり、人生観や職業観、自分が将来選ぶとする進路が、自分の生き方にとってどんな意味をもつのかといったことを探究するということでもあります。人生の探究、といってもよいでしょう。

ここで私は、青年期の華を開かせるということについて、この2つの課題に加えて、「個性の華を開かせる」ということを挙げたいと思います。それは、これからの大学生活の中で、自分が生涯をかけて打ち込めるもの、それを通して生きがいのある充実した生活を送れるものが何であるか、それを探究し続けるということでもあります。これまでの高校教育の中で、自分なりの個性と可能性が引き出され、伸ばされてきたかもしれせん。しかし、大学に入学した今日、まだまだ自分で引き出していない、伸ばされていない個性としての個性を、皆さんひとりひとりがもっていると思います。それをこれからの大学生活の中で、ぜひ自分で探究して欲しいと思うのです。

さて、こうした青年期の華を開かせる、つまり、自分の頭で考える、生き方を探究する、個性の華を開かせる、といううえで、本学は、国立の女子大学として、また小規模の大学として、皆さんが努力すればどんなにも活かせる恵まれた大学である、と自信をもって言えます。私ども教職員の間で、よく言っていることに、「小さな大学を大きく使おう」ということばがあります。先生方と学生との学問研究を通しての深いつながりが、ここにはあります。先輩とのつながりももてます。また、ゼミナール、課外活動等を通じての同学の友としての深いつながりももてます。それらを通して、心理の探究と人生の探究が深められるということが、小さな大学を大きく使おうということだ、と思うのです。

けれども、それは、皆さんひとりひとりが、いかに大きく使うか、にかかっています。「叩けよ、さらば開かれん」ということばがありますように、先生方の研究室や先輩の門は、叩かなければ開かれせん。その意味で、今日からの生活の中で、先生方の扉を叩き、先輩の扉を叩き、同学の友と胸襟を開き合って語るという充実した学園生活を自ら積極的に作り出して欲しい。そのことによって、本学が一層充実した研究と教育の府になっていくように、お互いに努力していきたいと願うするものであります。

重ねて、入学、ほんとおめでとう。

昭和62年4月9日

お茶の水女子大学長 河野重男

関 係 法 令

【政 令】

- 日本国有鉄道改革法等の施行に伴う関係法令の整備等に関する政令（政令第54号、3月20日官報）
- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令（政令第59号、3月25日官報）

【省 令】

- 電子情報処理組織を使用して処理する場合における歳入関係事務の取扱いの特例に関する省令の一部を改正する省令（大蔵省令第8号、3月14日官報）
- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第6号、3月31日官報）
- 教員資格認定試験規程の一部を改正する省令（文部省令第8号、3月31日官報）
- 文部省定員規則の一部を改正する省令（文部省令第9号、3月31日官報）
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第10号、3月31日官報）

【規 則】

- 日本国有鉄道改革法等施行法（昭和61年法律第93号）の施行に伴う関係人事院規則の整備に関する人事院規則（人事院規則1-13、3月20日官報）
- 人事院規則9-8（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則（人事院規則9-8-7、4月1日官報）

【告 示】

- 歳入徴収官及び分任歳入徴収官を指定する件の一部を改正する件（大蔵省告示第45号、3月28日官報）
- 国の会計機関の使用する公印に関する規則附則第三項に規程する公印の形式を定める件（大蔵省告示第46号、3月28日官報）
- 支出に関する事務を電子情報処理組織を使用して処理する場合における予算決算及び会計令等の臨時特例に関する政令第三条第一項第一号に規定する大蔵大臣が指定する官署を指定する件（大蔵省告示第47号、3月28日官報）

学 内 規 程

○お茶の水女子大学規則第1号

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規を次のように定める。

昭和62年1月28日

お茶の水女子大学長 藤巻 正生

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部
を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を次のように改正する。

第2条の表中人間文化研究科奨学基金の項の次に次のように加える。

池田摩耶子記念奨学基金	昭和61年12月本学元教授池田摩耶子氏遺族（池田 重氏）が本学（大学院・学部）学生の奨学に資することを目的として寄付す。	次の各項に掲げる者とする。 1 本学大学院人間文化研究科において国際的な研究に従事し、その成績顕著な者 2 本学大学院人文科学研究科、理学研究科又は家政学研究科において国際的な研究に従事し、その成績顕著な者 3 本学学部及び大学院に私費で在学する外国人学生（研究生等を除く。）で、その成績顕著な者
-------------	--	---

第5条の表中人間文化研究科奨学基金の項の次に次のように加える。

池田摩耶子記念奨学基金	学生部長	大学院人間文化研究科担当教官1名 大学院人文科学研究科、理学研究科及び家政学研究科担当教官各1名 外国人学生担当教官1名	各大学院研究科担当教官は当該研究科長が、外国人学生担当教官は学生部長が推薦する。
-------------	------	--	--

附 則

この内規は、昭和62年4月3日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第2号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則
お茶の水女子大学学則の一部を次のように改正する。
第2条の表中

理学部	数学科	24人	96人
	物理学科	24人	96人
	化学科	22人	88人
	生物学科	27人	108人
計		97人	388人

」を

理学部	数学科	25人	100人
	物理学科	25人	100人
	化学科	25人	100人
	生物学科	27人	108人
計		102人	408人

」に

合計	475人	1,900人
----	------	--------

」を

合計	480人	1,920人
----	------	--------

」に改める。

附則の表中

理学部	数学科	4人
	物理学科	4人
	化学科	2人
	生物学科	2人
計		12人

理学部	数学科	5人
	物理学科	5人
	化学科	5人
	生物学科	2人
計		17人

」に

合計	63人
----	-----

合計	68人
----	-----

」に改める。

附 則

- この学則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に定める総定員は、同項の規定にかかわらず、昭和62年度から昭和64年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	昭和62年度	昭和63年度	昭和64年度
文教育学部	哲 学 科	88人	92人	96人
	史 学 科	86人	89人	92人
	地 理 学 科	84人	86人	88人
	国 文 学 科	130人	135人	140人
	外国文学科	214人	221人	228人
	教育学科	150人	155人	160人
	舞踊教育学科	116人	120人	124人
計		868人	898人	928人
理学部	数 学 科	89人	94人	99人
	物 理 学 科	89人	94人	99人
	化 学 科	87人	92人	97人
	生 物 学 科	104人	106人	108人
計		369人	386人	403人
家政学部	児 童 学 科	130人	135人	140人
	食 物 学 科	130人	135人	140人
	被 服 学 科	132人	138人	144人
	家庭経営学科	110人	115人	120人
	家庭科教員養成課程	40人	40人	40人
	計	542人	563人	584人
合 計		1,779人	1,847人	1,915人

○お茶の水女子大学規則第3号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則
お茶の水女子大学学則の一部を次のように改正する。
第34条に次の1項を加える。

- 前項の規定にかかわらず、入学年度の前期に係る授業料については、入学を許可される者の申出があった時は、入学手続時に徴収するものとする。

第37条を次のように改める。

第37条 一度納めた検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、これを返さない。ただし、入学手続時に授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

第38条第1項を次のように改める。

次の各号の一に該当すると認められる者で、学長に願ひ出たときは、当該各号に定める入学料を免除することがある。

- 一 特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者については、全額又は半額

二 前号による申請をしていた者のうち、本学学部への入学を辞退し、他の国立大学学部の入学手続きを行う者については全額

三 他の国立大学に入学料を納付した者のうち、当該学部への入学を辞退し本学学部の入学手続きを行う者については全額又は既に納付した入学料に相当する額

附 則

この学則は、昭和62年2月27日から施行する。

〇お茶の水女子大学規則第4号

お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学部規程の一部を次のように改正する。

理学部規程第2条中

「 学科別	毎年度入学定員	計
数 学 科	24人	96人
物理学科	24人	96人
化 学 科	22人	88人
生物学科	27人	108人
計	97人	388人」を

「 学科別	毎年度入学定員	計
数 学 科	25人	100人
物理学科	25人	100人
化 学 科	25人	100人
生物学科	27人	108人
計	102人	408人」に改める。

附則中

「数学科	4人	「数学科	5人
物理学科	4人	物理学科	5人
化学科	2人	化学科	5人
生物学科	2人	生物学科	2人
計	12人」を	計	17人」に改める。

附 則

- 1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 文教育学部規程第2条、理学部規程第2条及び家政学部規程第2条に定める総定員は、同条の規定に

かわらず、それぞれ昭和62年度から昭和64年度までは、次のとおりとする。

文教育学部規程

学 科 別	昭和62年度	昭和63年度	昭和64年度
哲 学 科	88人	92人	96人
史 学 科	86人	89人	92人
地 理 学 科	84人	86人	88人
国 文 学 科	130人	135人	140人
外国文学科	214人	221人	228人
教育学科	150人	155人	160人
舞踏教育学科	116人	120人	124人
計	868人	898人	928人

理学部規程

学 科 別	昭和62年度	昭和63年度	昭和64年度
数 学 科	88人	92人	99人
物 理 学 科	88人	92人	99人
化 学 科	84人	86人	97人
生 物 学 科	104人	106人	108人
計	364人	376人	403人

家政学部規程

学 科 別	昭和62年度	昭和63年度	昭和64年度
児 童 学 科	130人	135人	140人
食 物 学 科	130人	135人	140人
被 服 学 科	132人	138人	144人
家庭経営学科	110人	115人	120人
家庭科教員養成課程	40人	40人	40人
計	542人	563人	584人

〇お茶の水女子大学規則第5号

お茶の水女子大学外国人留学生委員会規程を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学外国人留学生委員会規程

(設置)

第1条 お茶の水女子大学にお茶の水女子大学外国人留学生委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(定義)

第2条 この規程において「外国人留学生」とは、本学学部外国人学生規程に定める学部の学生、研究生及び聴講生、本学大学院外国人学生規程に定める外

国人学生並びに本学大学院外国人研究生規程に定める外国人研究生をいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 外国人留学生の受入れの連絡調整に関すること
- 二 外国人留学生の教育に関すること
- 三 外国人留学生の厚生補導に関すること
- 四 その他外国人留学生の指導上必要な事項に関すること

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 一般教育科目の「日本語・日本事情」所属教官
- 二 一般教育科目の「日本語・日本事情」担当の専任教官(ただし、前号の者を除く。)1人
- 三 各学部から選出された教官各1人
- 四 大学院人間文化研究科から選出された教官1人
- 五 学生部長

2 前項第3号及び第4号の委員は学長が任命する。

(任期)

第5号 前条第1項第3号及び第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会に、委員長を置き、第4条第1項第1号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

第7条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開くことはできない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学生課において処理する。

(その他)

第9条 この規程に定めるものの他、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和62年2月27日から施行する。
- 2 お茶の水女子大学外国人留学生顧問教官会議内規(昭和49年6月26日制定)は、廃止する。

○お茶の水女子大学規則第6号

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を次のように改正する。

第2条の表保井・黒田奨学基金の項沿革の欄中

四 昭和47年11月及び昭和61年1月
東京女子高等師範学校卒業生高橋
淑江氏遺族(高橋正浩氏)より本
基金の趣旨に賛同し本学に寄附す。

を

四 昭和47年11月、昭和61年1月及
び昭和62年2月東京女子師範学校
卒業生高橋淑江氏遺族(高橋正浩
氏)より本基金の趣旨に賛同し本
学に寄附す。

に改める。

附 則

この内規は、昭和62年4月3日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第7号

お茶の水女子大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規程の一部を次のように改正する。

第30条を第33条とし、第7条から29条までを3条ずつ繰り下げる。

第2章中第2節を第3節とし、第1節の次に次の1節を加える。

第2節 受験機会の複数化による入学料の免除(免除の対象となる者)

第7条 本学学部及び他の国立大学学部合格した者であって、次の各号の一に該当する者については、本学の入学料を免除することができる。

一 本学学部における入学（編入学、転入学及び聴講生、研究生等としての入学を除く。）手続の際に、第2条による入学料の免除を申請していた者が、本学学部への入学を辞退し、他の国立大学が定める入学手続の変更可能な期限までに、他の国立大学学部に対する入学手続を行う者

二 他の国立大学学部に対する入学（編入学、転入学及び聴講生、研究生等としての入学を除く。）手続の際に入学料を納付した者が、当該学部への入学を辞退し、本学が定める入学手続の変更可能な期限までに、本学学部に対する入学手続を行う者（免除の許可）

第8条 前条第一号の者に対する免除は、本学が定める日までに本人の申請に基づき、他の国立大学学部において入学を許可されたことを証明する書類を確認することにより、学長が許可する。

2 前条第二号の者に対する免除は、本学の入学手続の変更可能な期限までに本人の申請に基づき、入学料を既に納付したことを証明する書類、入学辞退を証明する書類及び当該年度に実施された共通第1次学力試験の受験票を確認することにより学長が許可する。

（免除の額）

第9条 免除の額は、入学料の全額とする。ただし、当該入学料の額が既に納付した入学料の額を上回る場合は、既に納付した入学料に相当する額とする。

附 則

この規程は、昭和62年2月27日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第8号

お茶の水女子大学女性文化研究センター規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学女性文化研究センター規

則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学女性文化研究センター規則の一部を次のように改正する。

第11条を第12条とし、第10条を第11条とし、第9条の次に次の1条を加える。

（研究生等）

第10条 センターに、研究に支障がない限り、研究生（1種、2種に区分する。）、委託生及び研修員（以下「研究生等」という。）を受け入れることができる。

2 前項の研究生等の入学資格、入学手続、その他必要な事項については、左欄に掲げるものは、右欄に掲げるものの例による。

左 欄	右 欄
研究生(1種)	学部研究生
研究生(2種)	大学院外国人研究生
委 託 生	学部委託生
研 修 員	私学研修員、専修学校研修員、公立学校研修員

附 則

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第9号

お茶の水女子大学附属高等学校規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学附属高等学校規程の一部

を改正する規程

お茶の水女子大学附属高等学校規程の一部を次のように改正する。

第19条に次の1項を加える。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度の前期に係る授業料については、入学を許可される者の申出があった時は、入学手続き時に徴収するものとする。第20条に次のただし書きを加える。

ただし、入学手続き時に授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

附 則

この規程は、昭和62年2月27日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第10号

お茶の水女子大学附属幼稚園規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年2月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学附属幼稚園規程の一部を

改正する規程

お茶の水女子大学附属幼稚園規程の一部を次のように改正する。

第14条に次の1項を加える。

2 前項の規定にかかわらず、入園年度の前期に係る

保育料については、入園を許可される者の申出があった時は、入園手続き時に徴収するものとする。
第15条に次のただし書きを加える。

ただし、入園手続き時に保育料を納付した者が3月31日までに入園を辞退した場合には、納付した者の申出により当該保育料相当額を返還する。

附 則

この規程は、昭和62年2月27日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第11号

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年3月18日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を次のように改正する。

別表中

研 究 料
270,000円
270,000円
135,000円
67,500円
67,500円
270,000円
135,000円

研 究 料
300,000円
300,000円
150,000円
75,000円
75,000円
300,000円
150,000円

」を「」に改める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第12号

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和62年3月18日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を次のように改正する。

第8条中

研究料の額	月額18,000円	月額7,200円
-------	-----------	----------

」を

研究料の額	月額20,000円	月額8,000円
-------	-----------	----------

」に改める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

人 事

○ 人 事 異 動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
62.3.31	中 村 敏 明	辞職承認	辞 職	施設課
"	石 井 清 文	"	"	"
"	桜 井 裕 子	"	"	文教育学部助手
"	吉 田 美 枝 子	"	"	"

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
62. 3. 31	渡 邊 真紀子	辞職承認	辞 職	文教育学部助手
"	佐々木 玲 子	"	"	"
"	立 花 俊 一	"	"	理学部教授
"	中 山 玲 子	"	"	家政学部助手
"	小 池 寿 子	"	"	"
"	粟 野 三千子	"	"	"
"	柳 瀬 サエ子	"	"	家政学部教務職員
"	皆 川 美恵子	"	"	大学院人間文化研究科助手
"	大 塚 恵	"	"	"
"	伊 藤 ユ キ	"	"	"
"	間明田 カヨコ	"	"	附属学校部用務員
"	新 田 篤 子	"	"	附属小学校養護教諭
"	浜 田 孝	"	"	附属中学校教諭
"	富 裕 京 一	"	"	"
"	林 久 子	"	"	附属幼稚園教諭
"	廣 重 利之輔	昭和62年3月31日限り定年退職	退 職	事務局長
"	野 村 直 樹	"	"	会計課課長補佐
"	中曾根 民 子	"	"	厚生課学寮係寮務主任
"	内 野 公 夫	"	"	家政学部事務長
"	大 麻 志賀子	"	"	附属学校部用務員
"	八 城 慶 子	"	"	附属中学校教頭
"	藤 井 徳 爾	"	"	附属高等学校教頭
"	橋 詰 三千恵	辞職承認	臨時的任用	附属高等学校養護教諭
62. 4. 1	溝 井 明 人	文部事務官（庶務課）	採 用	
"	横 山 宏	文部事務官（会計課）	"	
"	湯 沢 瑞 生	文部技官（施設課）	"	
"	丸 山 彰 英	文部事務官（厚生課）	"	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
62.4.1	秋 山 光 文	助教授（文教育学部）	採 用	
"	篠 塚 英 子	"	"	
"	藤 山 和 子	"	"	
"	市 瀬 まゆみ	助手（文教育学部）	"	
"	釜 谷 幸 子	"	"	
"	濱 野 桂 子	"	"	
"	平 川 澄 子	教務職員（文教育学部）	"	
"	外 館 良 衛	助手（理学部）	"	
"	関 口 伸 子	助手（家政学部）	"	
"	小 山 直 子	教務職員（家政学部）	"	
"	塩 原 みゆき	"	"	
"	福 島 裕 子	"	"	
"	井 上 信 子	助手（大学院人間文化研究科）	"	
"	鈴 木 ゆり子	"	"	
"	大 町 英理子	"	"	
"	谷 田 貝 麻美子	"	"	
"	中 村 一 吉	文部事務官（附属学校部）	"	
"	伊 藤 昭 三	教諭（附属小学校）	"	
"	田 中 千 尋	"	"	
"	高 木 悦 子	養護教諭（附属小学校）	"	
"	大野木 龍太郎	教諭（附属中学校）	"	
"	蓑 輪 幸 枝	"	"	
"	磯 見 文 男	教諭（附属高等学校）	"	
"	細 井 隆 一	庶務課課長補佐	昇 任	理学部学務係長
"	川 島 清 人	庶務課庶務係庶務主任	"	庶務課
"	薄 葉 章	学生課課長補佐	"	会計課総務係長
"	田 代 和 敏	学生課教務係長	"	理学部学務係学務主任

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	異動前の所属・官職
62.4.1	大澤輝子	厚生課学寮係寮務主任	昇任	附属学校部
"	大塚常樹	講師(文教育学部)	"	東京大学文学部助手
"	宮尾正樹	"	"	"
"	宗京洋子	助手(文教育学部)	"	教務職員(文教育学部)
"	小山敏子	教授(理学部)	"	助教授(理学部)
"	塚田和美	助教授(理学部)	"	新潟大学理学部助手
"	窪田健二	群馬大学工業短期大学部助教授	"	助手(理学部)
"	富田守	教授(家政学部)	"	助教授(家政学部)
"	榊澤真実	助手(家政学部)	"	教務職員(家政学部)
"	三代かおる	"	"	"
"	仲真紀子	千葉大学講師教育学部	"	助手(大学院人間文化研究科)
"	堀江順子	附属学校部教育研究係長	"	附属学校部総務係庶務主任
"	旭スズエ	附属中学校教頭(命)副校長	"	教諭(附属中学校)
"	石田光子	附属高等学校教頭(命)副校長	"	教諭(附属高等学校)
"	大島英夫	一橋大学経理部主計課	転任	会計課
"	田辺雅子	東京大学助手教養学部	"	助手(文教育学部)
"	内嶋善兵衛	教授(理学部)	"	農林水産省農業環境技術研究所環境資源部気象管理科長
"	坂下英善	教諭(附属中学校)	"	東京学芸大学教育学部附属大泉中学校教諭
"	勝谷祐一	事務局長	配置換	大臣官房付
"	金井晃	庶務課庶務係長	"	庶務課職員係長
"	古賀智	庶務課職員係長	"	学生課教務係長
"	岩崎哲昌	庶務課大学院係長	"	附属図書館総務係長
"	高田滋郎	会計課課長補佐	"	庶務課課長補佐
"	高野佳征	会計課総務係長	"	会計課司計係長
"	三井田勝	会計課司計係長	"	会計課用度係長
"	菊池政樹	会計課出納係長	"	附属学校部教育研究係長
"	加藤久雄	会計課用度係長	"	会計課出納係長

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異 動 前 の 所 属 ・ 官 職
62. 4. 1	樋 口 武	入学主幹	配置換	国立特殊教育総合研究所 運営部研修情報課長
"	窪 田 一 郎	筑波大学学校教育事務部業務課長	"	入学主幹
"	浦 田 要	附属図書館事務長	"	学生課課長補佐
"	宮 腰 泰 憲	附属図書館総務係長	"	文教育学部学務係長
"	柿 沢 秀 春	文教育学部学務係長	"	庶務課大学院係長
"	菊 池 昭 夫	理学部学務係長	"	庶務課庶務係長
"	和 賀 由 子	理学部	"	附属学校部
"	豊 田 広 一	家政学部事務長	"	附属図書館事務長
"	河 野 隆	附属学校部	"	厚生課
"	高 山 理知子	"	"	庶務課
"	渡 辺 尚 平	高等教育局私学部学校法人調査課 併任の期間 63. 3. 31まで	併 任	(会計課)
"	井 内 昇	附属小学校長 併任の期間 65. 3. 31まで	"	(文教育学部教授)
"	奥 野 剛	保健管理センター所長 併任の期間 64. 3. 31まで	"	(保健管理センター教授)
"	五十嵐 脩	生活環境研究センター長 併任の期間 64. 3. 31まで	"	(生活環境研究センター 教授)
"	中 川 信	評議員 併任の期間 62. 9. 30まで	"	(文教育学部教授)
"	清 水 碩	"	"	(理学部教授)
"	本 田 和 子	"	"	(家政学部教授)
"	中 村 隆 英	"	"	"
"	井 内 昇	評議員	併任解除	(文教育学部教授)
"	三 橋 通 子	職務復帰	復 職	教諭(附属小学校)
"	岩 崎 哲 昌	大学院人間文化研究科事務室長	勤務命令	(庶務課大学院係長)
"	近 藤 光 男	昭和62年3月31日限り定年退職	退 職	教授(文教育学部)
"	頼 惟 勤	"	"	"
"	林 田 侃	"	"	教授(理学部)
"	塚 本 晃	"	"	"
"	大 塚 雅 彦	"	"	教授(家政学部)
"	相 田 浩	"	"	"

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	異動前の所属・官職
62. 4. 1	小倉志祥	昭和62年3月31日限り停年退職	退職	教授(家政学部)
"	福場博保	"	"	教授(生活環境研究センター)
"	柳澤千恵子	養護教諭(附属高等学校) 任期 62. 7. 31まで	臨時的任用	
"	伊藤昭三	任期満了(62. 3. 31)	"	教諭(附属小学校)
62. 4. 2	青木和夫	附属図書館長 評議員 併任の期間 64. 4. 1まで	併任	(文教育学部教授)
"	中島利誠	家政学部長 評議員 併任の期間 64. 4. 1まで	"	(家政学部教授)
"	根本心一	理学部附属臨海実験所長 併任の期間 64. 4. 1まで	"	(理学部附属臨海実験所 助教授)
"	新関滋也	附属中学校長 併任の期間 65. 3. 31まで	"	(理学部教授)
62. 4. 16	大橋昌子	教授(生活環境研究センター)	昇任	助教授(生活環境研究センター)

○外国人教師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	ルイス・ジョン・クラフォード	契約	62. 4. 1～63. 3. 31	
"	タキノ・シャロ・シャンタル	"	"	
"	鹿 琮 世	"	"	

○非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
62. 3. 30	小林 一二三	昭和62年3月30日限り任期満了退職		
"	竹部 正二	"		
"	中守 せい	"		
"	百 清子	"		
"	幸野 保典	"		
"	石野 康子	"		
"	菊地 久江	"		
"	浅見 キヨノ	"		
62. 4. 1	横山 典子	事務補佐員(庶務課)	62. 4. 1～63. 3. 31	
"	小林 一二三	臨時用務員(会計課)	62. 4. 1～63. 3. 30	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
62. 4. 1	江月洋子	臨時用務員(会計課)	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	斉藤智子	事務補佐員(会計課)	"	
"	三沢志津江	"	"	
"	風澤京子	"	"	
"	竹部正二	技能補佐員(施設課)	62. 4. 1~63. 3. 30	
"	鎌田昭子	事務補佐員(施設課)	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	横山真弓	事務補佐員(学生課)	62. 4. 1~62. 11. 15	
"	田中和子	"	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	中村めぐみ	"	62. 4. 1~62. 5. 31	
"	矢吹トク	臨時用務員(学生課)	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	中守せい	臨時用務員(厚生課)	62. 4. 1~63. 3. 30	
"	宮澤晴美	事務補佐員(厚生課)	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	飯草泰子	事務補佐員(入学主幹付)	"	
"	岡川京子	"	"	
"	百清子	臨時用務員(入学主幹付)	62. 4. 1~63. 3. 30	
"	幸野保典	事務補佐員(附属図書館)	"	
"	小林睦子	"	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	島内真美子	"	"	
"	高橋章子	"	"	
"	大沢三奈子	"	"	
"	松井美由紀	"	"	
"	西川紀子	事務補佐員(文教育学部)	"	
"	田中眞理子	"	"	
"	小林ミチ	臨時用務員(文教育学部)	"	
"	山田美登里	教務補佐員(文教育学部)	"	
"	矢吹委子	"	"	
"	鈴木里美	事務補佐員(文教育学部)	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
62. 4. 1	長谷川 加津子	事務補佐員 (文教育学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	福 嶋 依 子	"	"	
"	川 島 史 子	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	松 林 純 子	"	"	
"	菅 原 博 子	"	"	
"	三 好 みゆき	"	"	
"	渡 部 ちあき	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	庄 司 宏 子	"	"	
"	松 井 優 子	"	"	
"	堀 江 朝 恵	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	岩 田 浩 子	"	"	
"	三 原 みどり	"	"	
"	蓮 池 香	"	"	
"	金 子 敦 子	"	"	
"	勝 村 仁 子	"	"	
"	小 池 すみれ	"	"	
"	中 野 マ リ	"	"	
"	西 野 真由美	"	"	
"	渡 辺 奈穂子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	城 恵美子	"	"	
"	川 上 薫	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	鍵 山 由 美	"	"	
"	近 藤 美樹子	"	"	
"	保 立 浩 美	"	"	
"	石 野 康 子	事務補佐員 (理学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 30	
"	木 村 しづ子	臨時用務員 (理学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	菊 地 久 江	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 30	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
62. 4. 1	濱野光代	事務補佐員(理学部)	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	小畑美佐子	"	"	
"	市川圭子	教務補佐員(理学部)	"	
"	山田サチ子	事務補佐員(理学部)	"	
"	山須三津枝	"	"	
"	中鉢成美	教務補佐員(理学部)	"	
"	岩崎洋子	"	"	
"	渡邊静子	事務補佐員(理学部)	"	
"	高原美枝子	事務補佐員(家政学部)	"	
"	浅見キヨノ	臨時用務員(家政学部)	"	
"	片岡知子	教務補佐員(家政学部)	"	
"	大石容子	"	"	
"	阿部千恵子	"	"	
"	山崎千恵子	"	"	
"	武部日美子	"	"	
"	山崎聡子	"	"	
"	高根理恵	"	"	
"	森下みさ子	"	"	
"	柳梨娜	"	"	
"	田辺洋子	"	"	
"	金和子	"	"	
"	朝倉富子	"	"	
"	瀬尾弘子	"	"	
"	佐藤辰江	"	"	
"	長尾慶子	"	"	
"	脇田美佳	"	"	
"	浜田陽子	"	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
62. 4. 1	下 夷 美 幸	教務補佐員 (家政学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	犬 塚 都 子	"	"	
"	大 塚 洋 子	"	"	
"	横 田 明 子	"	"	
"	猪 口 由紀子	"	"	
"	藤 山 葉 子	教務補佐員 (生活環境研究センター)	"	
"	小笠原 史 子	教務補佐員 (家政学部)	"	
"	中 嶋 純 子	"	"	
"	内 山 良 重	事務補佐員 (家政学部)	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	
"	武 居 久美子	教務補佐員 (家政学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	鈴 木 千穂子	事務補佐員 (家政学部)	"	
"	飯 窪 とみ江	臨時用務員 (大学院人間文化研究科)	"	
"	佐久間 千栄子	事務補佐員 (大学院人間文化研究科)	"	
"	北 村 千 秋	事務補佐員 (附属学校部)	"	
"	熊 谷 とも子	"	"	
"	北 村 キ ソ	臨時用務員 (附属学校部)	"	
"	前 田 良 子	"	"	
"	三 森 ふみえ	"	"	
"	関 根 恵里香	教務補佐員 (女性文化研究センター)	"	
"	野 村 明 代	"	"	
"	上 野 恵 子	"	"	
62. 4. 16	濱 本 和 代	教務補佐員 (家政学部)	62. 4. 16 ~ 63. 3. 31	

○非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 3. 1	福永哲夫	講師(文教育学部)	62. 3. 1~62. 3. 31	東京大学助教授
62. 4. 1	吉田夏彦	"	62. 4. 1~63. 3. 31	東京大学教授
"	伊藤勝彦	"	"	埼玉大学教授
"	林田新二	"	"	電気通信大学教授
"	竹内整一	"	"	専修大学教授
"	馬場雅美	"	"	
"	勝俣鎮夫	"	62. 4. 1~62. 9. 30	東京大学教授
"	岡野誠	"	62. 4. 1~63. 3. 31	明治大学助教授
"	中里成章	"	"	
"	千葉治男	"	"	成城大学教授
"	柴野均	"	"	東京大学助手
"	梅村恵子	"	62. 4. 1~62. 9. 30	
"	吉見映子	"	"	
"	義江明子	"	"	
"	鈴木陽子	"	"	
"	高橋伸夫	"	"	筑波大学助教授
"	高阪宏行	"	"	日本大学助教授
"	大友篤	"	"	宇都宮大学教授
"	西川治	"	"	
"	青木伶子	"	62. 4. 1~63. 3. 31	成蹊大学教授
"	橋本達雄	"	"	専修大学教授
"	木村正中	"	"	学習院大学教授
"	増田正造	"	"	武蔵野女子大学教授
"	柴田光彦	"	"	跡見学園女子大学教授
"	川嶋至	"	"	東京工業大学教授
"	国松昭	"	"	東京外国語大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	木山英雄	講師(文教育学部)	62. 4. 1~63. 3. 31	一橋大学教授
"	蜂屋邦夫	"	"	東京大学教授
"	近藤龍哉	"	"	埼玉大学助教授
"	松本昭	"	"	一橋大学教授
"	丸山昇	"	"	東京大学教授
"	岩倉嘉代子	"	"	
"	上島建吉	"	"	東京大学教授
"	工藤昭雄	"	"	学習院大学教授
"	西尾巖	"	"	早稲田大学教授
"	渡辺勝馬	"	"	東京女子大学教授
"	木下光一	"	"	独協大学教授
"	小野正敦	"	"	東京外国語大学助教授
"	若林真	"	"	慶応義塾大学教授
"	後藤辰男	"	"	東洋大学教授
"	今野喜清	"	"	青山学院大学教授
"	奥田泰弘	"	62. 4. 1~62. 9. 30	中央大学教授
"	中内敏夫	"	62. 4. 1~63. 3. 31	一橋大学教授
"	岩崎三郎	"	"	青山学院大学助教授
"	高橋均	"	"	武蔵大学教授
"	坂元昂	"	"	東京工業大学教授
"	永田良昭	"	"	学習院大学教授
"	御領謙	"	"	千葉大学教授
"	吉田章宏	"	"	東京大学教授
"	本儀みどり	"	"	
"	梅本二郎	"	"	横浜国立大学教授
"	阿保雅行	"	62. 4. 1~62. 9. 30	東京外国語大学助教授
"	石崎朔子	"	"	日本女子体育大学助教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	柳 沼 輝 子	講師 (文教育学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	武蔵野音楽大学講師
"	大 道 等	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	国際武道大学助教授
"	阿 部 生 雄	"	"	筑波大学助教授
"	真仁田 昭	"	"	筑波大学教授
"	遠 藤 善 久	"	"	
"	井 上 百合子	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	若 松 淳 子	"	"	
"	岡 部 玲 子	"	"	
"	佐々木 弥栄子	"	"	
"	長谷川 敏	"	"	茨城大学助教授
"	平 尾 力 哉	"	"	
"	ミカミ・カタリーナ・ マルガレーテ	"	"	
"	芦 川 紀 子	"	"	
"	佐 野 圭 子	"	"	
"	小 池 松 寿	"	"	武蔵野音楽大学助教授
"	渡 辺 三 郎	"	"	東邦音楽大学助教授
"	高 久 淑 子	"	"	
"	山 内 忠	"	"	宮城学院女子大学教授
"	中 野 俊 也	"	"	東京芸術大学助手
"	近 藤 讓	"	"	
"	八 田 清 隆	"	"	
"	寺 田 由美子	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	洗足学園大学教授
"	逸 身 喜一郎	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	成城大学助教授
"	似田貝 香 門	"	"	東京学芸大学助教授
"	園 田 恭 一	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	東京大学教授
"	橋 本 寿 朗	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	法政大学教授
"	柴 垣 和 夫	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	東京大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	藤井昇三	講師(文教育学部)	62. 4. 1~63. 3. 31	電気通信大学教授
"	中島平三	"	"	東京都立大学助教授
"	河島英昭	"	"	東京外国語大学教授
"	松平信久	"	62. 4. 1~62. 9. 30	立教大学教授
"	山本礼子	"	"	和洋女子大学教授
"	笹川孝一	"	"	東京都立大学助手
"	斉藤利彦	"	"	学習院大学講師
"	勝浦範子	"	"	
"	本郷さよ子	"	"	学習院女子中高等科教諭
"	長澤靖夫	"	"	東京学芸大学助教授
"	橘静香	"	62. 4. 1~63. 3. 31	
"	宮崎幸子	"	62. 4. 1~62. 9. 30	
"	金井新二	"	62. 4. 1~63. 3. 31	東京大学助教授
"	小林宏光	"	"	
"	中西又三	"	"	中央大学教授
"	桜井毅	"	"	武蔵大学教授
"	斉藤毅	"	62. 4. 1~62. 9. 30	東京学芸大学教授
"	川崎逸朗	"	"	千葉大学助教授
"	中島昭和	"	62. 4. 1~63. 3. 31	中央大学教授
"	石井巖	"	"	立教大学教授
"	本郷逕子	"	"	
"	井上美沙子	"	62. 4. 1~62. 9. 30	
"	今井佐智子	"	62. 4. 1~63. 3. 31	共立女子短期大学助教授
"	佐藤喬	"	"	慶應義塾大学教授
"	篠塚久美子	"	"	日本体育大学助教授
"	高原信子	"	"	
"	俵田春江	"	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	山口 俊治	講師(文教育学部)	62. 4. 1~63. 3. 31	日本医科大学教授
"	吉岡 真弓	"	"	
"	上野 修	"	"	東京学芸大学教授
"	川口 洋	"	"	学習院大学教授
"	菅野 健	"	"	筑波大学講師
"	千艘 光幸	"	"	横浜国立大学教授
"	中村 由加利	"	"	武蔵野音楽大学講師
"	長谷川 洋	"	"	横浜国立大学教授
"	松尾 直美	"	"	武蔵野音楽大学助教授
"	宮原 朗	"	"	埼玉大学教授
"	渡辺 勝	"	"	埼玉大学教授
"	中田 美喜	"	"	慶應義塾大学教授
"	内田 雄一	"	"	創価大学助教授
"	西村 靖敬	"	"	千葉大学講師
"	中沢 達夫	"	"	慶應義塾大学教授
"	金子 美都子	"	"	聖心女子大学助教授
"	中條 忍	"	"	青山学院大学教授
"	水野 忠夫	"	"	早稲田大学教授
"	山本 富啓	"	"	
"	平松 圭子	"	"	大東文化大学教授
"	クレイン・ジーン・アラン	"	"	
"	ライヤ・オクダ	"	"	
"	ジークリット・サカイ	"	"	
"	リディ・イシビキ	"	"	東京日仏学院教授
"	佐藤 絢子	"	62. 4. 1~62. 9. 30	
"	武井 正子	"	"	順天堂大学助教授
"	三須 徳次	"	62. 4. 1~63. 3. 31	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	川 辺 光	講師(文教育学部)	62. 4. 1~62. 9. 30	東京外国語大学教授
"	豊 田 直 平	"	"	東京女子体育大学教授
"	酒 井 綾 子	"	"	附属中学校教諭
"	高 橋 通 泰	"	"	附属高等学校教諭
"	花 田 修 一	"	"	附属中学校教諭
"	早 崎 捷 治	"	"	附属高等学校教諭
"	小田川 恭 子	"	62. 4. 1~63. 3. 31	"
"	園城寺 信 一	"	"	"
"	奥 野 剛	"	62. 4. 1~62. 9. 30	保健管理センター教授
"	久 保 昌	"	62. 4. 1~63. 3. 31	附属高等学校教諭
"	黒 部 義 之	"	62. 4. 1~62. 9. 30	附属小学校教諭
"	中 村 得 之	講師(理学部)	"	東京大学教授
"	寶 来 正 子	"	"	東京工業大学助教授
"	高 木 亮 一	"	"	千葉大学教授
"	立 花 俊 一	"	"	神奈川大学教授
"	品 田 正 樹	"	"	電気通信大学教授
"	有 山 正 孝	"	"	"
"	高 見 穎 郎	"	"	東京大学教授
"	小 川 建 吾	"	"	関東学院大学助教授
"	八 木 江 里	"	"	東洋大学教授
"	相 原 正 樹	"	"	山口大学助教授
"	稲 本 直 樹	"	"	東京大学教授
"	小 林 常 利	"	62. 4. 1~63. 3. 31	理化学研究所研究員
"	高 橋 禮 子	"	62. 4. 1~62. 9. 30	名古屋市立大学助教授
"	中 村 勇 兒	"	"	
"	高 杉 暹	"	"	横浜市立大学教授
"	笠 毛 邦 弘	講師(文教育学部)	"	農業生物資源研究所

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	外村 晶	講師(文教育学部)	62. 4. 1～62. 9. 30	東京医科歯科大学教授
"	本田 欣哉	"	62. 4. 1～63. 3. 31	立教大学教授
"	国分 征	"	62. 4. 1～62. 9. 30	東京大学教授
"	藤田 長子	"	62. 4. 1～63. 3. 31	
"	久保内 信子	"	"	
"	西沢 清子	"	62. 4. 1～62. 9. 30	上智大学助手
"	草間 時武	"	62. 4. 1～63. 3. 31	早稲田大学教授
"	竹沢 照	"	"	日本大学教授
"	山崎 篤磨	"	62. 4. 1～62. 9. 30	東京大学助手
"	関沢 尚	"	62. 4. 1～63. 3. 31	
"	前川 恒夫	"	62. 4. 1～62. 9. 30	東京大学助教授
"	橋本 吉彦	"	"	横浜国立大学助教授
"	中田 雅子	講師(家政学部)	62. 4. 1～63. 3. 31	心身障害児総合医療療育センター
"	武藤 安子	"	"	"
"	吉川 晴美	"	"	東京家政学院大学講師
"	津守 真	"	"	愛育養護学校校長
"	川田 昇	"	"	神奈川大学教授
"	加勢 瑠璃子	"	"	コダーイシステム研究会会長
"	繁樹 算男	"	62. 4. 1～62. 9. 30	東京工業大学助教授
"	西平 直喜	"	"	山梨大学教授
"	坂口 亮	"	"	心身障害児総合医療療育センター
"	守永 英子	"	62. 4. 1～63. 3. 31	附属幼稚園教諭
"	橋詰 直孝	"	"	帝京大学助教授
"	飯渕 貞明	"	62. 4. 1～62. 9. 30	和洋女子大学教授
"	松本 エミ子	"	62. 4. 1～63. 3. 30	共立女子大学教授
"	下村 道子	"	"	大妻女子大学助教授
"	平野 美那世	"	62. 4. 1～62. 9. 30	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	浜島教子	講師(家政学部)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	聖徳栄養短期大学教授
"	東畑朝子	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	
"	石川松太郎	"	"	日本女子大学教授
"	山崎真狩	"	"	東京大学教授
"	安部井徹	"	"	東邦大学教授
"	鈴木周一	"	"	埼玉工業大学教授
"	白井俊一	"	"	順天堂大学教授
"	斉藤康	"	"	千葉大学講師
"	古松弥生	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	十文字学園女子短期大学教授
"	保志宏	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	東京大学講師
"	佐々木健一	"	"	東京大学助教授
"	徳井淑子	"	"	放送大学助教授
"	中村茂夫	"	"	神奈川大学助教授
"	松浦静雄	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	中央大学講師
"	平井良行	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	
"	酒井哲也	"	"	東京工業大学教授
"	杉野正	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	横浜国立大学助教授
"	利光功	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	玉川大学教授
"	角田光雄	"	"	日立化成工業株式会社
"	新居玄武	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	学習院大学助教授
"	石原邦雄	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	東京都立大学助教授
"	利谷信義	"	"	東京大学教授
"	牧野カツ子	"	"	横浜国立大学助教授
"	山口絢子	"	"	婦人の園副園長
"	四宮陽子	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	今井悦子	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	埼玉純真女子短期大学講師
"	横山巽子	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	林 隆子	講師(家政学部)	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	東京都立立川短期大学助教授
"	岡田陽子	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	高橋洋代	"	"	立教女学院短期大学教授
"	村田修子	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	洗足学園大学教授
"	福田理恵	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	小竹千香子	"	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	附属高等学校教諭
"	石田勉	"	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	附属中学校教諭
"	石黒一憲	"	"	東京大学助教授
"	桜井陽子	講師(附属中学校)	"	
"	佐野文	"	"	
"	鈴木里美	"	"	
"	福田公子	"	"	
"	毛塚敬進	"	"	
"	山越智津子	"	"	
"	瀬尾弘子	"	"	
"	長谷部雅子	"	"	
"	俵田春江	"	"	
"	佐藤妙子	"	"	
"	北澤健	"	"	東京都立工芸高等学校教諭
"	伊藤式子	講師(附属高等学校)	"	
"	島津弘子	"	"	
"	川口美智子	"	"	
"	清水悦男	"	"	
"	柳井まどか	"	"	
"	茶園幸子	"	"	
"	渡部ちあき	"	"	
"	小宮山雅代	講師(附属幼稚園)	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
62. 4. 1	吉永 亜子	講師 (附属幼稚園)	62. 4. 1 ~ 63. 3. 31	
"	中原 勝 敏	講師 (文教育学部)	62. 4. 1 ~ 62. 9. 30	立教大学教授
"	香原 志 勢	"	"	"
62. 4. 16	濱本 和 代	講師 (附属小学校)	62. 4. 16 ~ 63. 3. 31	
"	山崎 千恵子	"	"	

○ 学科主任

学 部	学 科 等	職名	氏 名
文教育学部	哲 学 科	教授	尾田 幸雄
	史 学 科	"	平野 孝
	地 理 学 科	"	浅海 重夫
	国 文 学 科	"	市川 孝
	外 国 文 学 科		
	中国文学・中国語学	"	佐藤 保
	英文学・英語学	"	野島 秀勝
	独文学・独語学	"	杉本 正哉
	仏文学・仏語学	"	石川 宏
	教 育 学 科		
	教 育 学	"	上野 浩道
	心 理 学	"	須賀 哲夫

学 部	学 科 等	職名	氏 名
	舞踊教育学科		
	舞踊教育学	教授	加賀 秀夫
	音楽教育学	"	徳丸 吉彦
理学部	数 学 科	"	小川 洋輔
	物 理 学 科	"	伊藤 厚子
	化 学 科	"	富田 功
	生 物 学 科	"	能村 堆子
家政学部	児 童 学 科	"	水野 梯一
	食 物 学 科	"	小林 彰夫
	被 服 学 科	"	板倉 寿郎
	家庭経営学科	"	富田 守

◆各種委員会委員◆

1. ()は事務担当課
2. *印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定

評議会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	62. 2. 16~65. 2. 15
文教育学長	浅井清	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部長	橋爪夏樹	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部長	中島利誠	62. 4. 2~64. 4. 1
人間文化 研究科長	太田次郎	60. 4. 1~63. 3. 31
附図書館 属長	青木和夫	62. 4. 2~64. 4. 1
附学校部 属長	藤永保	62. 2. 16~65. 2. 15
文教育学部 教授	熊谷直男	61. 10. 1~62. 9. 30
文教育学部 教授	佐藤保	60. 10. 1~62. 9. 30
文教育学部 教授	中川信	62. 4. 1~62. 9. 30
理学部 教授	清水碩	62. 4. 1~62. 9. 30
理学部 教授	沢島侑子	60. 10. 1~62. 9. 30
理学部 教授	田中翠	60. 10. 1~62. 9. 30
家政学部 教授	本田和子	62. 4. 1~62. 9. 30
家政学部 教授	石川欣造	60. 10. 1~62. 9. 30
家政学部 教授	中村隆英	62. 4. 1~62. 9. 30
(常時評議会に出席できる者)		
事務局長	勝谷祐一	
学生部長	細矢治夫	61. 1. 1~62. 12. 31
一般 教育委員長	湯沢雍彦	62. 4. 1~63. 3. 31
教務委員長	五十嵐脩	62. 4. 1~63. 3. 31
女性文化研 究センター長	堤精二	61. 6. 1~63. 3. 31
生活環境研 究センター長	五十嵐脩	62. 4. 1~64. 3. 31

予算委員会(会計課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学長	浅井清	
理学部長	橋爪夏樹	
家政学部長	中島利誠	
人間文化 研究科長	太田次郎	
文教育学部 教授	式正英	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部 教授	中川信	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部 教授	高村幸男	62. 4. 1~64. 3. 31
理学部 教授	遠山益	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部 教授	小林彰夫	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部 教授	中村隆英	62. 4. 1~64. 3. 31
人間文化研 究科教授	浅海重夫	62. 4. 1~64. 3. 31
附図書館 属長	青木和夫	
女性文化研 究センター長	堤精二	
生活環境研 究センター長	五十嵐脩	
事務局長	勝谷祐一	
学生部長	細矢治夫	
会計課長	東山四孝也	

施設計画委員会(施設課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	
文教育学長	浅井清	
理学部長	橋爪夏樹	
家政学部長	中島利誠	
人間文化 研究科長	太田次郎	
文教育学部 教授	浅海重夫	60. 10. 1~62. 9. 30
文教育学部 教授	宮島喬	62. 4. 1~62. 9. 30
理学部 教授	前田侯子	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部 教授	能村堆子	62. 4. 1~63. 3. 31

家政学部 教授	小林 彰 夫	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部 教授	板 倉 壽 郎	61. 4. 1~63. 3. 31
人間文化 研究科教授	浅 海 重 夫	62. 4. 1~64. 3. 31
附 属 図書館長	青 木 和 夫	
附 属 学校部長	藤 永 保	
女性文化研究 センター長	堤 精 二	
生活環境研究 センター長	五十嵐 脩	
事務局長	勝 谷 祐 一	
学生部長	細 矢 治 夫	
一 般 教育委員長	湯 沢 雍 彦	

館山施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*橋 爪 夏 樹	
文教育学部 教授	加 賀 秀 夫	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部 助 教 授	石 黒 節 子	60.10. 1~62. 9. 30
理 学 部 教 授	瀬 野 信 子	61.10. 1~63. 9. 30
家政学部 助 教 授	本 間 清 一	61.10. 1~63. 9. 30
理学部臨海 実験所長	根 本 心 一	
附属高等学校 教 頭	石 田 光 子	
附属中学校 教 頭	旭 スズエ	
附属小学校 教 頭	萩 原 栄	
附属幼稚園 教 頭	村 石 京	
学生部長	細 矢 治 夫	
事務局長	勝 谷 祐 一	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 夫	

廃水管理委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	浅 海 重 夫	61.10. 1~63. 9. 30
理 学 部 教 授	清 水 碩	61.10. 1~63. 9. 30
理 学 部 助 教 授	富 永 靖 徳	61.10. 1~63. 9. 30
理 学 部 助 教 授	永 野 肇	61.10. 1~63. 9. 30
家政学部 教 授	小 川 昭 二 郎	61.10. 1~63. 9. 30
家政学部 助 教 授	久 保 田 紀 久 枝	61.10. 1~63. 9. 30
生活環境研究 センター教授	*五十嵐 脩	61.10. 1~63. 9. 30
附属高等学校 教 諭	石 井 朋 子	
附属中学校 教 諭	佐 々 木 和 枝	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 夫	

レクリエーション運営委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事務局長	*勝 谷 祐 一	
庶務課長	吉 田 茂	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 夫	
学生課長	久 米 康 之	
厚生課長	嶋 倉 英 一	
入学主幹	樋 口 武	
文教育学部 事務部長	磯 崎 昭 男	
理 学 部 事務部長	福 本 健 弥	
家政学部 事務部長	豊 田 広 一	
附属図書館 事務部長	浦 田 要	
庶務課長 補 佐	細 井 隆 一	
会 計 課 長 補 佐	高 田 滋 郎	
学 生 課 長 補 佐	薄 葉 章	
大学院人間文化 研究科事務室長	岩 崎 哲 昌	
附属学校部 事務室長	高 橋 傳	

入学試験委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	
文教育学部 教 育 学 長	浅井清	
理学部長	橋爪夏樹	
家政学部長	中島利誠	
文教育学部 教 授	上野浩道	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部 助 教 授	山本秀行	61. 4. 1~63. 3. 31
理 学 部 教 授	小川洋輔	61. 4. 1~63. 3. 31
理 学 部 助 教 授	大橋裕二	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	富田守	61. 4. 1~63. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	倉田忠男	62. 4. 1~64. 3. 31
学生部長	細矢治夫	
事務局長	勝谷祐一	
保健管理 センター所長	奥野剛	
電子計算機 室 長	伊藤厚子	

入学者選抜方法研究委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	市川孝	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部 教 授	須賀哲夫	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	柴田文明	61. 4. 1~63. 3. 31
理 学 部 助 教 授	藤原正彦	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	森田明	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	飯長喜一郎	61. 4. 1~63. 3. 31
学生部長	*細矢治夫	
教務委員長	五十嵐脩	
一 般 教 育 委 員 長	湯沢雅彦	

教務委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	上野浩道	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部 助 教 授	内藤博夫	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	清水碩	61. 4. 1~63. 3. 31
理 学 部 教 授	松田千鶴子	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	本田和子	62. 4. 1~64. 3. 31
生活環境研 究センター 教授	*五十嵐脩	61. 4. 1~63. 3. 31
一 般 教 育 委 員 長	湯沢雅彦	
学生部長	細矢治夫	

一般教育委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	酒本雅之	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部 教 授	石川宏	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	清水碩	61. 4. 1~63. 3. 31
理 学 部 教 授	松田千鶴子	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	*湯沢雅彦	61. 4. 1~63. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	本間清一	62. 4. 1~64. 3. 31
学生部長	細矢治夫	

教育実習専門委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
附 学 校 部 属 長	藤永保	
文教育学部 助 教 授	*宮原修	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	松田千鶴子	61. 4. 1~63. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	黒田淑子	61. 4. 1~63. 3. 31
教務委員会教 課程担当委員	上野宏道	61. 4. 1~63. 3. 31
附 高 等 学 校 属 長	式正英	
附 中 学 校 属 長	新関滋也	
附 小 学 校 属 長	井内昇	

附幼稚園 屬長	小川 剛	
附屬高等学校 教育実習主任	久保 昌	
附屬中学校 教育実習主任	高宮 典夫	
附屬小学校 教育実習主任	黒部 善之	
附屬幼稚園 教育実習主任	田中 三保子	

学生委員会・学寮委員会・学生会館運営委員会
(学生課・厚生課)

官職	氏名	任 期
文教育学部 助教授	小風 秀雅	61.10. 1~62. 9.30
文教育学部 講師	羽入 佐和子	62. 4. 1~63. 3.31
理学部 教授	富永 靖徳	62. 4. 1~63. 3.31
理学部 助教授	*林 正男	61.10. 1~62. 9.30
家政学部 助教授	無藤 隆	62. 4. 1~63. 3.31
家政学部 教授	畑江 敬子	61.10. 1~62. 9.30
学生部長	細矢 治夫	

組織運営検討委員会(庶務課)

官職	氏名	任 期
学 長	*河野 重男	
文教育学部 学長	浅井 清	
理学部長	橋爪 夏樹	
家政学部長	中島 利誠	
人間文化 研究科長	太田 次郎	
附図書館 属長	青木 和夫	
附学校部 属長	藤永 保	
学生部長	細矢 治夫	
事務局長	勝谷 祐一	

将来構想検討委員会(庶務課)

官職	氏名	任 期
文教育学部 教授	徳丸 吉彦	61.10. 1~63. 9.30
文教育学部 助教授	土屋 賢二	61.10. 1~63. 9.30
理学部 教授	伊藤 厚子	61.10. 1~63. 9.30
理学部 助教授	藤原 正彦	61.10. 1~63. 9.30
家政学部 教授	小林 彰夫	62. 4. 2~63. 9.30
家政学部 教授	富田 守	61.10. 1~63. 9.30
人間文化 研究科教授	藤永 保	61.10. 1~63. 9.30
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	61.10. 1~63. 9.30

外国人学生委員会(学生課)

官職	氏名	任 期
文教育学部 教授	水谷 信子	
文教育学部 講師	平田 悦朗	
文教育学部 教授	藤永——保	61. 7. 1~63. 6.30
理学部 助教授	藤原 正彦	61. 4. 1~63. 3.31
家政学部 教授	中島 利誠	61.10. 1~63. 9.30
学生部長	細矢 治夫	

食堂運営委員会(厚生課)

官職	氏名	任 期
学生部長	*細矢 治夫	
理学部 助教授	林 正男	
家政学部 教授	島田 淳子	62. 4. 1~63. 3.31
家政学部 助教授	久保田 紀久枝	62. 4. 1~63. 3.31
附屬高等 学校教諭	小竹 千香子	62. 4. 1~63. 3.31
事務局長	勝谷 祐一	
会計課長	東山 四孝也	
学生課長	久米 康之	
厚生課長	嶋 倉 英一	
家政学部 学務係長	筑井 克己	

学生自治会 委員長	安藤千穂	
小石川寮 運営委員長	大杉寿子	
大山寮 運営委員長	水野千夏	

事務改善研究委員会（庶務課）

事務局長	*勝谷祐一	
庶務課長	吉田茂	
会計課長	東山四孝也	
施設課長	小牧幸夫	
学生課長	久米康之	
厚生課長	嶋倉英一	
入学主幹	樋口武	
庶務課長 補佐	細井隆一	
会計課長 補佐	高田滋郎	
学生課長 補佐	薄葉章	
文教育学部 事務部長	磯崎昭男	
理工学部 事務部長	福本健弥	
家政学部 事務部長	豊田広一	
附属図書館 事務部長	浦田要	

購入物品機種選定委員会（会計課）

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	*浅海重夫	61. 4. 1~63. 3.31
文教育学部 助教授	須賀哲夫	61. 4. 1~63. 3.31
理工学部 教授	伊藤厚子	61. 4. 1~63. 3.31
理工学部 教授	遠山益	61. 7. 2~63. 3.31
家政学部 教授	小林彰夫	61. 4. 1~63. 3.31
家政学部 教授	石川欣造	61. 4. 1~63. 3.31

公開講座委員会（入学主幹室）

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	熊谷直男	61. 1.20~63. 1.19
文教育学部 教授	石川宏	61. 1.20~63. 1.19
文教育学部 教授	徳丸吉彦	61. 1.20~63. 1.19
理工学部 教授	富永靖徳	61. 1.20~63. 1.19
理工学部 教授	福田豊	61. 1.20~63. 1.19
理工学部 教授	石和貞男	61. 1.20~63. 1.19
家政学部 教授	*本田和子	61. 1.20~63. 1.19
家政学部 助教授	森田明	61. 1.20~63. 1.19
家政学部 助教授	小池三枝	61.10. 1~63. 1.19
学生部長	細矢治夫	

大学院研究科連絡委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
学長	河野重男	
人文科学 研究科長	浅井清	
理工学部 研究科長	橋爪夏樹	
家政学部 研究科長	中島利誠	
人文科学 研究科教授	尾田幸雄	62. 4. 1~64. 3.31
人文科学 研究科教授	森隆夫	62. 4. 1~64. 3.31
理学研究科 教授	遠山益	62. 4. 1~64. 3.31
理学研究科 教授	瀬野信子	62. 4. 1~64. 3.31
家政学部 研究科教授	田口恒夫	62. 4. 1~64. 3.31
家政学部 研究科教授	水野悌一	62. 4. 1~64. 3.31

保健管理センター運営委員会（厚生課）

官 職	氏 名	任 期
保健管理センター所長	*奥野 剛	
文教育学部教授	酒本 雅之	61. 10. 1~63. 9. 30
文教育学部助教	石黒 節子	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部教授	池田 宏信	60. 9. 16~62. 9. 15
理学部助教	藤枝 修子	60. 9. 16~62. 9. 15
家政学部教授	島田 淳子	61. 9. 16~63. 9. 15
家政学部助教	水野 悌一	61. 9. 16~63. 9. 15
附属高等学校教諭	古山 泉	61. 4. 1~63. 3. 31
附属小学校教諭	横山 善実	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部教授	興水 はる海	
理学部教授	太田 次郎	
家政学部教授	富田 守	
学生部長	細矢 治夫	
事務局長	勝谷 祐一	

学芸員課程委員会（文教育学部）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部教授	上野 浩道	
文教育学部助教	小川 剛	
文教育学部助教	*鷹野 光行	
文教育学部教授	坂本 満	61. 10. 1~63. 9. 30
文教育学部教授	青木 和夫	61. 10. 1~63. 9. 30
文教育学部助教	内藤 博夫	62. 4. 1~63. 9. 30
文教育学部教授	堤 精二	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部助教	山下 貴司	61. 10. 1~63. 9. 30
家政学部教授	板倉 壽郎	61. 10. 1~63. 9. 30

理学部附属臨海実験所運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*橋爪 夏樹	
臨海実験所長	根本 心一	
理学部教授	富永 靖徳	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部助教	松本 勲武	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部助教	渡辺 洋子	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部教授	井内 昇	61. 4. 1~63. 3. 31
文教育学部助教	栗原 尚子	62. 4. 1~64. 3. 31
家政学部助教	本間 清一	61. 4. 1~63. 3. 31
生活環境研究センター教授	大橋 昌子	61. 4. 1~63. 3. 31
会計課長	東山 四孝也	
施設課長	小牧 幸夫	

電子計算機室運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*橋爪 夏樹	
電子計算機室長	伊藤 厚子	
電子計算機室副長	細矢 治夫	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部教授	小川 洋輔	62. 4. 1~63. 3. 31
理学部教授	富永 靖徳	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部教授	大橋 裕二	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部教授	馬場 昭次	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部教授	今西 典子	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部助教	倉田 忠男	61. 4. 1~63. 3. 31
事務局長	勝谷 祐一	
会計課長	東山 四孝也	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会
(理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*橋 爪 夏 樹	
RI実験室長	清 水 碩	
放射線取扱 主任者	所 哲 司	
文教育学部 助 教 授	三 上 岳 彦	61. 4. 1~63. 3.31
理 学 部 教 授	田 中 翠	61.10. 1~63. 9.30
理 学 部 教 授	太 田 次 郎	61.10. 1~63. 9.30
理 学 部 助 教 授	松 本 勲 武	61.10. 1~63. 9.30
生活環境研究 センター教授	五十嵐 脩	61.10. 1~63. 9.30
家 政 学 部 助 教 授	倉 田 忠 男	60.10. 1~62. 9.30

理学部極低温実験室運営委員会 (理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*橋 爪 夏 樹	
極低温実験 室 長	伊 藤 厚 子	
理 学 部 教 授	田 中 翠	61. 4. 1~63. 3.31
理 学 部 教 授	清 水 碩	61. 4. 1~63. 3.31
理 学 部 助 教 授	福 田 豊	61. 4. 1~63. 3.31
生活環境研究 センター助教授	富 永 典 子	61. 4. 1~63. 3.31
保安監督者	所 哲 司	

附属図書館運営委員会 (附属図書館)

官 職	氏 名	任 期
附属図書館長	*青 木 和 夫	
文教育学部 助 教 授	白 藤 禮 幸	61.10. 1~63. 9.30
文教育学部 助 教 授	富 山 太 佳 夫	61. 4. 1~63. 3.31
理 学 部 助 教 授	松 本 勲 武	61. 4. 1~63. 3.31
理 学 部 講 師	亀 井 理	61. 4. 1~63. 3.31
家 政 学 部 助 教 授	小 池 三 枝	62. 4. 1~63. 3.31
生活環境研究 センター助教授	富 永 典 子	62. 4. 1~64. 3.31
一般教育委員 長	湯 沢 雍 彦	

女性文化研究センター委員会 (附属図書館)

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*堤 精 二	
文 教 育 学 部 長	浅 井 清	
理学部長	橋 爪 夏 樹	
家政学部長	中 島 利 誠	
人間文化研 究 科 長	太 田 次 郎	
附属図書館長	青 木 和 夫	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター講師	館 かおる	
文教育学部 教 授	大 口 勇 次 郎	61. 4.23~63. 4.22
理 学 部 教 授	前 田 侯 子	61. 4.23~63. 4.22
家 政 学 部 教 授	本 田 和 子	61.10. 1~63. 4.22
事務局長	勝 谷 祐 一	

生活環境研究センター運営委員会 (家政学部)

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究 センター長	*五十嵐 脩	
文 教 育 学 部 長	浅 井 清	
理学部長	橋 爪 夏 樹	
家政学部長	中 島 利 誠	
生活環境研究 センター教授	大 橋 昌 子	
生活環境研究 センター助教授	富 永 典 子	
文教育学部 教 授	浅 海 重 夫	62. 4. 1~64. 3.31
理 学 部 教 授	能 村 堆 子	61. 4. 1~63. 3.31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	61. 4. 1~63. 3.31
家 政 学 部 教 授	石 川 欣 造	61. 4. 1~63. 3.31
事務局長	勝 谷 祐 一	

生活環境研究センター研究委員会（家政学部）

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究センター長	*五十嵐 脩	
生活環境研究センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究センター助教授	富永 典子	
文教育学部教授	浅海 重夫	60. 7. 1~62. 6. 30
文教育学部教授	森下 はるみ	60. 7. 1~62. 6. 30
理学部教授	瀬野 信子	60. 7. 1~62. 6. 30
理学部教授	清水 碩	60. 7. 1~62. 6. 30
家政学部教授	水野 悌一	60. 7. 1~62. 6. 30
家政学部教授	島田 淳子	62. 4. 1~64. 3. 31
家政学部教授	板倉 寿郎	60. 7. 1~62. 6. 30
家政学部教授	中村 隆英	62. 4. 1~64. 3. 31

附属学校委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*藤 永 保	
文教育学部教授	春日 喬	62. 4. 1~64. 3. 31
理学部教授	沢島 侑子	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部教授	田口 恒夫	61. 4. 1~63. 3. 31
事務局長	勝谷 祐一	
附属小学校長	井内 昇	
附属中学校長	新関 滋也	
附属高等学校長	式 正英	
附属幼稚園長	小川 剛	
附属小学校教頭	萩原 栄	
附属中学校教頭	旭 スズエ	
附属高等学校教頭	石田 光子	
附属幼稚園教頭	村石 京	

附属学校教育研究委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*藤 永 保	
文教育学部教授	市川 孝	61. 4. 1~63. 3. 31
理学部教授	松田 千鶴子	61. 4. 1~63. 3. 31
家政学部教授	中村 隆英	61.10. 1~63. 3. 31
教育学科助教授	宮原 修	62. 4. 1~64. 3. 31
児童学科助教授	黒田 淑子	61. 4. 1~63. 3. 31
附属小学校長	井内 昇	
附属中学校長	新関 滋也	
附属高等学校長	式 正英	
附属幼稚園長	小川 剛	
附属小学校教頭	萩原 栄	
附属中学校教頭	旭 スズエ	
附属高等学校教頭	石田 光子	
附属幼稚園教頭	村石 京	
附属小学校教諭	流田 直	62. 4. 1~64. 3. 31
"	長坂 利厚	61. 4. 1~63. 3. 31
附属中学校教諭	佐々木 和枝	61. 4. 1~63. 3. 31
"	井上 泰次	62. 4. 1~64. 3. 31
附属高等学校教諭	村井 利行	61. 4. 1~63. 3. 31
"	小田川 恭子	61. 4. 1~63. 3. 31
附属幼稚園教諭	村山 英子	61. 4. 1~63. 3. 31
"	豊田 一秀	61. 4. 1~63. 3. 31

○新任部局長紹介

事務局長



勝谷 祐一

昭和5年11月3日生

京都市出身

〔略 歴〕

- 昭和28年3月 京都大学経済学部卒業
- 昭和31年3月 同文学部卒業
- 昭和36年7月 文部省
- 昭和40年7月 九州大学庶務課長
- 昭和49年6月 文部省大学局企画官
- 昭和52年4月 同学術国際局情報図書館課長
- 昭和52年9月 同国際学術課長
- 昭和55年6月 同研究機関課長
- 昭和57年7月 日本学術振興会総務部長
- 昭和58年5月 同事業部長

〔趣 味〕

囲碁（自称3段）。

〔モットー〕

人の和を大切にしたい。

〔就任の言葉〕

このたび本学に勤務させていただくことになって改めて現下の国立大学が置かれている難しい状況を意識させられています。学長のもと、皆様方と力を合わせ、気を引きしめて着実に進みたいと願っていますので、よろしくお願い致します。

家政学部長

（任期 昭和62年4月2日～
昭和64年4月1日）（新任）



笠島 利誠

昭和5年4月23日生

東京都出身

被服科学

〔略 歴〕

- 昭和30年3月 東京大学工学部応用化学科卒業
- 昭和37年3月 東京大学大学院化学系研究科博士課程退学
- 昭和37年4月 東京大学生産技術研究所助手
- 昭和39年3月 東京大学工学博士
- 昭和44年4月 お茶の水女子大学家政学部助教授
- 昭和54年2月 お茶の水女子大学家政学部教授
- 昭和59年1月～60年12月 お茶の水女子大学学生部長

〔趣 味〕

ドライブ：色々な型の自動車を運転するのが趣味。
テニス：40の手習で、下手の横好き。

〔モットー〕

何ごとにも誠実に。

〔就任の言葉〕

まだ何も判りませんので、少しづつ勉強しながら事に当たりたいと思っています。

附属図書館長

(任期 昭和62年4月2日～
昭和64年4月1日)(新任)



青木 和夫

大正15年5月31日生

東京都出身

日本古代史

〔略 歴〕

- 昭和26年3月 東京大学文学部卒業
- 昭和26年4月 東京大学大学院特別研究生
- 昭和29年4月 東京大学文学部助手
- 昭和35年7月 山梨大学学藝学部助教授
- 昭和41年4月 お茶の水女子大学文教育学部助教授
- 昭和47年4月 同教授

〔趣 味〕

百科事典を引くと隣りの項目まで読んでしまうこと。旅。

〔就任の言葉〕

情報の媒体として活字、特に書物の占める部分は減少しつつあるといわれています。しかし情報には、通りすぎてゆく情報と、心に沈んで人間を変えてゆく情報とがあります。私の場合は、感覚が鈍く、反応が遅く、とかく閉じこもって万事後悔してしまう性質のためか、書物がいちばん好きな相手です。その書物を相手の職場にすることができて、幸いです。

生活環境研究センター長

(任期 昭和62年4月1日～
昭和64年3月31日)(新任)



五十嵐 修

昭和9年10月20日生

東京都出身

栄養学

〔略 歴〕

- 昭和32年4月 東京大学農学部卒業
- 昭和35年3月 東京大学大学院化学系研究科博士課程中退
- 昭和35年4月 東京大学農学部助手

昭和42年11月 お茶の水女子大学家政学部助教授

昭和57年1月 お茶の水女子大学生活環境研究センター教授

〔趣 味〕

園芸・美術館巡り。地方に出張の際は暇を見つけて、美術館を歩く。

〔モットー〕

特にないが、人に拘束されるのが大嫌いなので、人に自分を押しつけることが最も嫌い。

〔就任の言葉〕

生活環境研究センターは現在岐路に立ってると思う。今後の進むべき道を模索中であり、学内の関係教官と協議の上進むべき方向を確立したい。関係各位の御協力をお願いする次第です。

理学部附属臨海実験所長

(任期 昭和62年4月2日～
昭和64年4月1日)(新任)



根本 心一

昭和16年10月2日生

栃木県出身

生物学(動物発生学)

〔略 歴〕

- 昭和45年12月 東京都立大学大学院理学研究科終了
- 昭和46年1月 お茶の水女子大学理学部助手
- 昭和59年8月 同助教授

〔就任の言葉〕

昭和45年開所以来施設の整備も進み、利用者は年間約1500名ほど、業績集も毎年発行できる状態になりました。しかし、まだまだ困難な問題を数多くかかえています。皆様の御協力をいただいて充実に務めたいと思っています。

学 事

○卒業式及び学位記授与式について

第35回卒業式及び第23回学位記授与式が3月23日(月) 本学講堂で挙

行された。

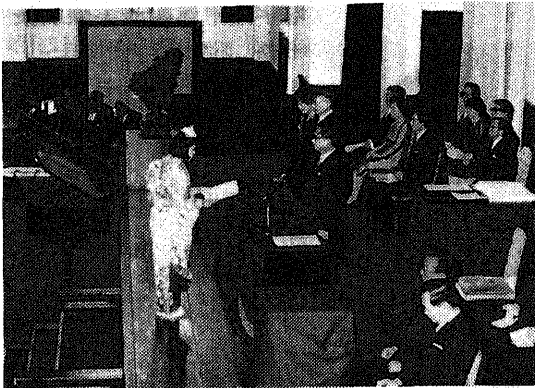
なお、卒業生数及び終了者数は次のとおり。

・卒業生数 (420名)

文教育学部	201名
理学部	93名
家政学部	126名

・修了者数 (118名)

人文化学研究科	67名
理学研究科	26名
家政学研究科	25名



○入学式について

昭和62年度入学式が4月9日(木) 本学講堂で挙

行された。

本年度の入学生数は次のとおり。

・学部 (519名)

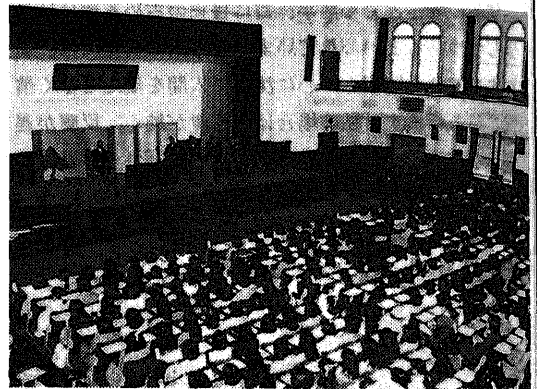
文教育学部	237名
理学部	111名
家政学部	168名
編入学・学士入学	3名

・大学院(修士課程) (129名)

人文化学研究科	70名
理学研究科	27名
家政学研究科	31名
再入学	1名

・大学院(博士課程) (35名)

人間文化研究科	34名
再入学	1名



諸 報

○名誉教授の称号授与について

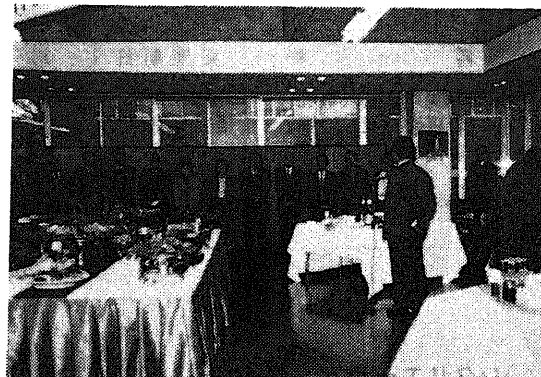
本年2月15日任期満了により退官された前学長藤巻正生氏に2月27日付け本学名誉教授の称号が授与された。

○永年勤続者表彰について

昭和61年度退職時の永年勤続者表彰式並びに文部省永年勤続者表彰状伝達式が昭和62年3月31日本部棟第二会議室に於て行われ被表彰者に表彰状並びに記念品が授与された。

被表彰者は次のとおり。

学長表彰者	会計課	野村直樹
	厚生課	中曾根民子
	家政学部	内野公夫
	附属中学校	八代慶子
文部大臣表彰者	事務局長	廣重利之輔



○停(定)年及び永年勤続退官者全学送別会について

停(定)年及び永年勤続退官者の全学送別会が3月18日(水)本学食堂において、名誉教授及び職員が多数出席し盛大に行われた。

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
理学部 助教授	林正男	アメリカ合衆国	フィプロネクチンのゴードン会議出席のため	62. 2. 15～ 62. 2. 22	出張
文教育学部 教授	加賀秀夫	中華人民共和国	「青少年の体力に関する日中共同研究」に関する協議のため	62. 2. 22～ 62. 2. 28	研修
家政学部 助教授	本間清一	フィリピン	日本学術振興会論博事業による研究指導者渡航	62. 3. 11～ 62. 3. 15	出張
家政学部 教授	小林彰夫	インドネシア	日本学術振興会東南アジアプロジェクトによる有用植物成分の調査	62. 3. 7～ 62. 3. 16	出張
文教育学部 助教授	平野由紀子	アメリカ合衆国	ハーバード大学日本研究所での日本文学教授法の研究及び資料収集	61. 3. 26～ 62. 3. 26	研修
文教育学部 教授	徳丸吉彦	インドネシア	会議(音楽の創作と認知)参加及び講義	62. 3. 18～ 62. 3. 31	出張
理学部 助教授	根本心一	イタリア	イタリア共和国ナポリ臨海実験所における研究	62. 2. 25～ 62. 4. 1	出張
文教育学部 教授	坂本満	大韓民国	韓国美術の調査	62. 3. 27～ 62. 4. 5	研修
家政学部 教授	中村隆英	カナダ	アルバート大学において日本経済についての講義を行い教育・研究活動についての助言をすること	62. 3. 25～ 62. 4. 8	研修

○健康診断

事項	実施期日	対象者	受診者数	実施場所
昭和61年度職員特別定期健康診断(第2次)	昭和62年 3月25日	自動車運転手	3人	保健管理センター

○研 修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
第65回関東地区人事院式 監督者研修(標準課程) 指導者養成研修	昭和62年 2月18日～ 2月26日	1. 係長相当職以上の者で 監督者としての実務経験を 有する者 2. 勤務成績が優秀であり、 本研修修了後、JSTの指 導に従事する予定の者	庶務課職員係長 金 井 晃	人事院関東 事務局

○レクリエーション行事

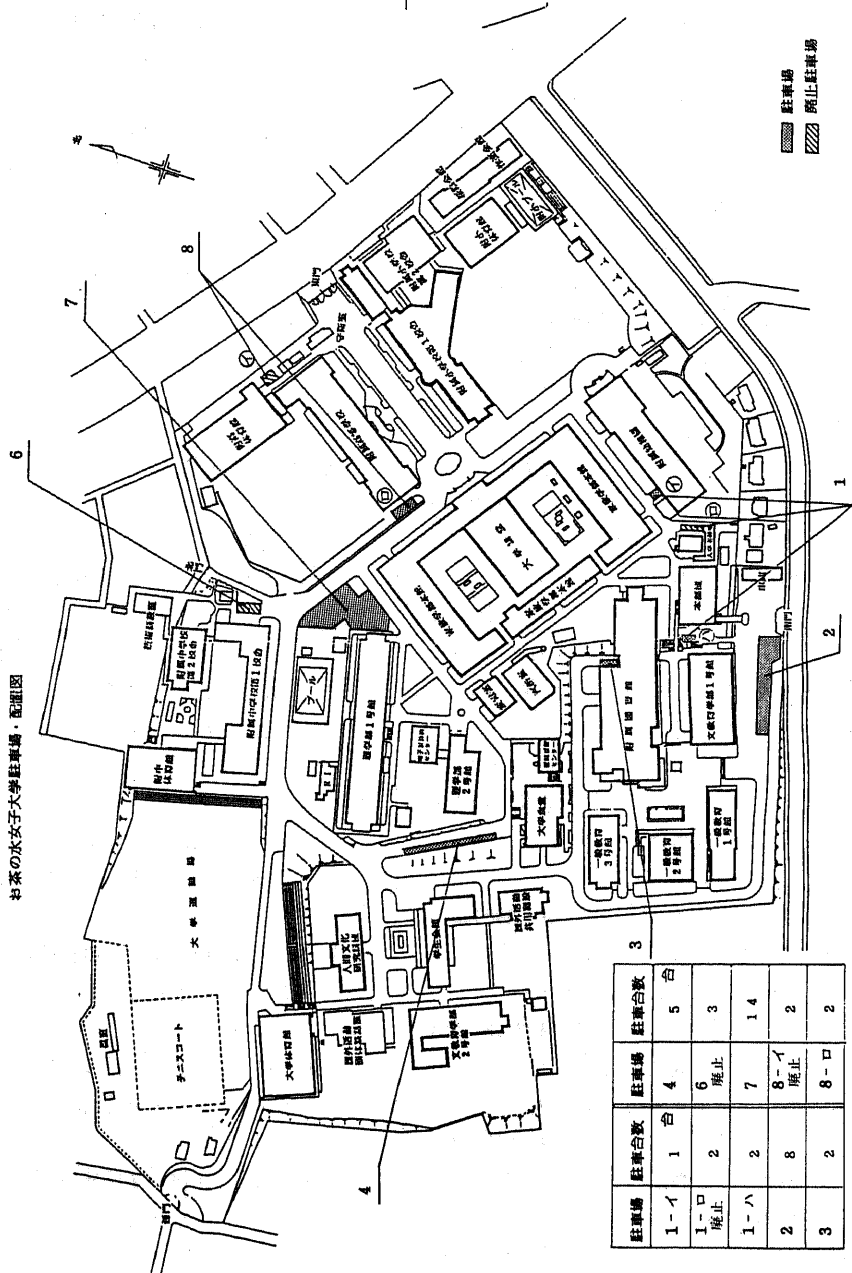
行 事 名	実 施 日 時	参加者数	実 施 場 所
昭和61年度観劇 題名「春雪の唄」 「旦那さま大事」	昭和62年1月15日、1月17日、 2月1日、2月8日、2月22日	50人	明治座

○新任者住所

○職員の住所等変更

○自動車駐車場の廃止について

自動車駐車場（配置図のとおり）のうち1-ロ、6及び8-イが4月1日から廃止されましたのでお知らせします。



○お知らせ

北海道教育大学

(新所在地)

〒002 札幌市北区あいの里5条3丁目1番
 電話番号(011)778-8811(代表)
 ファクシミリ(011)778-8850(附属図書館)

(旧所在地)

教育学部 〒064
 札幌分校 札幌市中央区南22条西12丁目1番1号
 附属図書館 〒064
 札幌市中央区南22条西12丁目1番1号
 電話番号(011)561-4281(代表)
 ファクシミリ(011)561-1707(附属図書館)

なお、事務局・学生部、附属教育工学センター、
 僻地教育研究施設及び附属札幌小・中学校について
 は、従前どおりです。

昭和62年3月

日 誌

(62. 2. 16 ~ 62. 4. 15)

2月16日(月) 後学期末試験(21日まで)
 17日(火) 理学部教授会、附属高等学校合格者
 発表
 18日(水) 大学院人間文化研究科会議、第2次
 学力検査第1段階選抜結果発表
 家政学部将来構想懇談会
 19日(木) 教務委員会、入試委員会、公開講座
 委員会、女性文化研究センター運営
 委員会
 20日(金) 保健管理センター運営委員会
 24日(火) 部局長会議
 25日(水) 行政監察(26日まで)
 26日(木) 各学部教授会、各研究科委員会、栄
 養士連絡協議会(於千葉大学)、持
 ち回り附属学校委員会
 27日(金) 評議会、大学院人間文化研究科(博
 士課程)第2次試験(28日まで)

3月3日(火) 附属図書館運営委員会
 5日(木) 大学入学者選抜第2次学力検査(6
 日まで)
 10日(火) 大学院人間文化研究科会議
 11日(水) 将来構想検討委員会
 12日(木) 部局長会議、女性文化研究センター
 運営委員会、附属幼稚園卒業式・終
 了式
 13日(金) 学寮委員会、学寮協議会、生活環境
 研究センター運営委員会
 16日(月) 会計検査院会計実地検査(18日ま
 まで)、入学者選抜方法研究委員会
 17日(火) 各学部教授会、各研究科委員会、附
 属中学校卒業式
 18日(水) 評議会、入学試験合格者発表、大学
 院人間文化研究科(博士課程)合格
 者発表、名誉教授称号授与式
 20日(金) 附属高等学校卒業式
 23日(月) 卒業式・終了式
 24日(火) 第1次入学手続(25日まで)、附属
 小学校卒業式、附属小学校・中学校
 ・高等学校終業式
 25日(水) 女性文化研究センター運営委員会
 27日(金) 学寮委員会、学寮協議会、持ち回り
 附属学校委員会
 30日(月) 第2次入学手続(31日まで)
 4月7日(火) 事務改善研究委員会
 8日(水) 女性文化研究センター運営委員会、
 附属小学校・中学校・高等学校入学
 式・始業式
 9日(木) 入学式、将来構想検討委員会、新入
 生オリエンテーション(10日まで)
 10日(金) 生活環境研究センター運営委員会、
 附属幼稚園入園式・始業式
 13日(月) 入学者選抜方法研究委員会
 14日(火) 前学期授業開始、部局長会議、一般
 教育委員会、持ち回り附属学校委員
 会
 15日(水) 各学部教授会、各研究科委員会